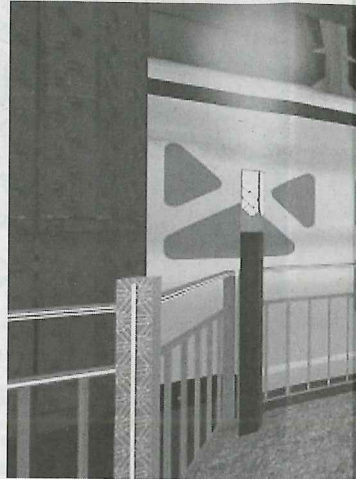


# 四季島



5号車乗降

のあぜいたくな空間に仕上げる。室内にはゆったりとくつろげるテーブル席を備え、出発前は乗客にウエルカムドリンクや菓子を提供、最終日の到着後にはフェアウェルパーティーが開かれる。専用ホームは、13番線

井線新府―松本間の11駅を追加する。また、同区間と信越線管内を含む10駅でサービスを拡大する。追加される駅は、中央線新府、穴山、日野春、信濃境、すずらん、青柳、みどり湖、篠ノ井線、広丘、村井、平田、南松本。各駅でSuica(定期

現在入金(チャージ)残額での利用に限られる一部対応駅の中央線長坂、小淵沢、富士見、茅野、上諏訪、下諏訪、岡谷、塩尻、篠ノ井線松本と信越線管内も、Suica発売などすべてのサービスが受けられるようになる。

## JR四国

### 季節の色彩

千年もの外装ラツ

来年4月1日に土讃線の使用車両、1855多度津・琴平―大歩危間 急気動車3両の改装で運転開始する「四国まがJR四国の多度津んなか千年ものがたり」で順次進められてい

# 共同トライアル開始

## JR貨物・南関東ロジなど 新型12トコンテナ

JR貨物グループの事業者団体連合会、佐川急便、O's & T e c (東京ロジステイクスと日本事都千代田区)の4者は11月28日から、新型12トコンテナ「氷感SO庫」の共同トライアルを開始した。写真。



氷感SO庫は、汎用(はんよう)コンテナに冷却システムと氷感システムを付加することで、凍結点でも食材などを凍らせることなく、長期にわたって鮮度をキープできる。保管時は外部電源、輸送時は蓄電池で定温管理し、一つのコンテナで保管と輸送の両方を実現する。SORAコンは、特殊塗装を施した汎用コンテナの屋根上に太陽電池モ

ジュールを搭載し、換気扇を常時動作させて24時間換気を行う。フル充電

時の稼働時間は約3日間。今年10月には各機器の稼働テストに成功しており、今回は来年1月末にかけて東京―札幌間、同

証を行い、来年4月からの量産化、サービス開始を目指す。佐川急便は、トライアル参画により、鉄道輸送を活用した新たな保冷輸送モードの構築を目指して、さまざまな顧客ニーズに対応する商品・サービスの開発につなげる。

# 仙台・金沢へ連携し誘客

## 金沢ホテル 相互プロモーション

「北陸・飛騨・信州」東北―金沢・仙台おちかづき街道」旅行商品相互プロモーション」が11月30日、ホテルメトロポリタン仙台で開催された。金沢ホテル懇話会などが主催した。

「北陸・飛騨・信州」東北―金沢・仙台おちかづき街道」旅行商品相互プロモーション」が11月30日、ホテルメトロポリタン仙台で開催された。金沢ホテル懇話会などが主催した。

会議には、主催者はじめ、来賓として、北陸信越と東北の両運輸局、金沢と仙台の両市長、宮城と石川の両県、両経済団体や観光関係団体、各旅行会社から約90人が出席し、代表者がそれぞれあいさつ。JRグループからもJR東日本の松木茂執行役員・仙台支社長、高橋敦司鉄道事業本部営業担当部長、JR西日



両支社長は11月に実施した仙台―金沢直通新幹線を報告した上で、

本から児島邦昌執行役員・金沢支社長らが参加した。松木支社長は11月に実施した仙台―金沢直通新幹線を報告した上で、「双方方向で行き来することが流動を太くする秘訣(ひけつ)。震災以降、東北6県は順次ステイネーションキャンペーンを開催し、地元と観光素材を磨き上げ、受け入れ準備はできている」とあいさつ。児島支社長も

率が高いと、東北への促進を深め、交差したい」と述べた。高橋は、1年目の開業後、2年目の誘客に向け、施策強化の取り組みを明した。このほか、東北観光推進本部と金沢市の山野之義市長がそれぞれ、地域の魅力紹介を行い、連携して交流を進めることの大切さを話した。

「Japan See Beyond the Sea」の共同トライアルは、仙台と金沢の両市長、宮城と石川の両県、両経済団体や観光関係団体、各旅行会社から約90人が出席し、代表者がそれぞれあいさつ。JRグループからもJR東日本の松木茂執行役員・仙台支社長、高橋敦司鉄道事業本部営業担当部長、JR西日